

# —寄稿—

## 木曜の男



佐々木氏

雜

感

—33—

した『木曜の男』（一九〇八年）という奇妙な小説があるが、倣つて言えばさしつめ私たちは「月曜の夫婦」、あるいは「火曜の男」か。

殻を破つてこそ

人は習慣の動物であるといふ。起床・就寝の時間、体力維持のためのルーティーン、靴下は右足から履くのか左足からか、食事では最初に何を済ませようとしたところ、「いつも月曜なのに、今日は珍しいですね」と言われた。こうした体験は重なるもののか、食事後に温泉施設に行つたところ、ここでもスタッフに同じことを言われた。

習慣が育む安定と安心——そのこと自体否定されるべきものではないが、その一方で、習慣は惰性にもつながる。惰性は殻の内側に閉じこもつて腐熟することであり、精神的な老いである。

かつて野獣派の画家たちやピカソが発明した斬新な表現を自ら捨てて新しい地平を開拓していくのは、まさにそ

習慣を繰り返し、周囲にもそう見られて日々を過ごす。

以前から、仕事休みの月曜日に、自宅からそう遠くない海沿いにある日帰り温泉を夫婦で楽しんでいる。いかにも効用がありそうな茶褐色の湯に加えて、サウナと広い水風呂が併設されている点も気に入っていて、震災前からかれこれ二十年通い続けている。

風呂前に、途中にある和食屋でランチをとるもの変わらない習慣である。一見ぶつきらぼうな、しかし実は腕のいい店主と、きびきびとしたスタッフの醸し出す雰囲気が心地よく、なにより魚料理がうまい。本当は店名を吹聴したいのだが、それでなくともランチ時には混んでいるので、ヒントのみでご容赦願いたい。いわき市の隣町、国道6号沿い。

先日その和食屋に週の半ばに入店、食事を終えて会計を行つたところ、ここで「スタッフと一緒に宿にしているホテルにて。

普段私は、宇都宮で火水と仕事をすることが多いことかいわき市配食サービス事業いわき市小名浜字本町60 TEL.0246-54-5330石井医院居宅介護支援事業所石井正記念石井医院3F TEL.0246-38-8301小名浜訪問看護ステーション石井正記念 石井医院2F TEL.0246-54-5802総合在宅支援センター石井正記念 石井医院3F TEL.0246-54-5330

## 医療法人社団 正風会

理事長 石井 正三



石井脳神経外科・眼科病院

玉川コンタクトレンズセンター  
いわき市小名浜林城字塚前3-1 TEL.0246-58-3121(代)

石井 正記念 石井 医院

デイケアセンター  
いわき市配食サービス事業

いわき市小名浜字本町60 TEL.0246-54-5330

石井医院居宅介護支援事業所

石井正記念石井医院3F TEL.0246-38-8301

小名浜訪問看護ステーション

石井正記念 石井医院2F TEL.0246-54-5802

総合在宅支援センター

石井正記念 石井医院3F TEL.0246-54-5330



介護老人保健施設

いきがい村

いわき市小浜町東ノ作164-2  
TEL.0246-62-0030



社会福祉法人  
正風会 ケアハウス小名浜  
いわき市小名浜字本町60-6  
TEL.0246-73-0100

天然温泉通所  
リハビリテーション

TEL.0246-62-0034

いきがい村居宅介護支援事業所

TEL.0246-77-3223

いきがい村訪問リハビリテーション事業所

いきがい村訪問介護事業所



- アンリ・ファンタン＝ラトゥール  
「パーティニョールのアトリエ」  
1870年  
204×273.5cm  
オルセー美術館（パリ）

バティニョール大通りのマネのアトリエ。絵筆を持って肖像画を描く中央のマネをルノワールやモネ、バジール、ゾラなどが取り囲んでいる。マネ以外全員がきちんとした身なりをしていてあたかも学校のような厳かさがあり、ファンタン＝ラトゥールのマネに対する尊崇の想いが読み取れる

## 筆者プロフィル 佐々木 吉晴

ささき・よしはる

1956（昭和 31）年宮城県生まれ。  
東北大学文学部哲学科美学西洋美術史  
専攻卒業。いわき市在住。1980 年、  
いわき市立美術館建設準備室に勤務、  
学芸課長、副館長を経て 2012 年から  
2021 年まで館長。現在、宇都宮美術  
館長、斎藤清美術館長、全国美術館会  
議理事・災害対策委員長

私自身「火曜の男」と思われることは不愉快ではないし、それどころか多少面白くも感じているが、だからといつて、肉体的な老いに流されるままに習慣を惰性化する

心には皺はない

うした惰性に陥ることを、精神的に老いることを恐れたからであろう。殻を破つてこそ、新しい生命が孵化する。

つよりもない。  
セヴィニエ夫人も言  
はないか。老いても  
皺じわはない」のである。

一八六〇年代後半から七〇年初頭にかけて、パリのモンマルトルの丘の西、バティニヨール通りにあるエ・ゲルボワで、『木曜の男』ならぬ「木曜会」という集まりが催されていた。主宰者は後に近代絵画の父とも呼ばれ

し、それがどうか多分面白くも感じているが、だからといつて、肉体的な老いに流されるままに習慣を惰性化する

「アーノルト・ムンクの日」  
ならぬ「木曜会」という集まりが催されていた。主宰者は後に近代絵画の父とも呼ばれる



彼が通うカフェ・ゲルボワにはそうした若手芸術家たちが足繁く訪れ、マネを囲んで毎夜酒を片手に芸術論議が繰り返された。文学者のプルーストやゾラ、写真家ナダール、

派と称され、普仏戦争を挟んで数年後には印象派と呼ばれることになる。近代絵画の幕を開けを告げる、チエスター・ンよりも半世紀早い「木曜の男」だった。

レオン3世主宰の「落選展」に展示、「オランピア」(六五年、サロン出品)で、マネはアカデミックな保守派からは激しく非難されたが、時代の変化に鋭敏で、芸術と社会の近代化を目指そうとしている新しい世代からは大きな称賛

のない彼らにいつも奢つて、いたマネであつたが、さすがに毎晩では金銭的に厳しいだけではなく、制作のための時間も確保できない。そこで集まりを週に一度、毎週木曜日と定めたのである。

るエドウアール・マネで、当時このカフェのすぐそばに住む常連だった。

画家のファンタントン＝ラトゥール、ドガ、モネ、ルノワール、バジール、版画家デブレタンなどである。

# いわき市長選挙

投票日：9月7日（日）

投票は朝 7 時から  
出かける前にまず投票 !

※ 投票所は、午後7時（一部投票所は午後6時）に終了となります。  
忘れずに投票しましょう！



<期日前投票>

投票日当日に投票所に行けない場合には期日前投票をご利用ください。

期日前投票は9月1日（月）から9月6日（土）まで。

## お問い合わせ

いわき市選挙管理委員会  
いわき市明るい選挙推進協議会  
TEL 0246-22-7532